

2012 年度日本看護図書館協会 第 7 回新人研修会報告

第 7 回新人研修会は 2012 年 10 月 27 日(土)、岐阜県立看護大学で開催された。今回は、協会の歴史、活動および司書の役割、図書、雑誌、レファレンス、ILL、利用者教育と図書館業務全般を講義形式で取り上げた。参加者は合計 29 名であった。

講義 1「図書館司書の役割」は、日本看護図書館協会の歴史と活動、課題と展望、および教育機関における図書館司書の役割についてお話を伺った。講義 2「選書と分類」は、看護図書館が収集する図書の選定と受入について多面的に述べられ、分類や配架が持つ意味についてもお話していただいた。講義 3「雑誌の選定」では雑誌の選定と見直し、評価の方法と基準、電子ジャーナルの導入、配架や保存について自館の事例をあげながら講義していただいた。講義 4「レファレンス」ではレファレンスインタビューの方法を講義とグループワークで学んだ。グループワークは 3 人 1 組で質問者、図書館員、観察者を分担した。事前課題のレファレンス事例を教材にインタビューの方法を実習しながら、どのように質問者と会話を進めて質問の本意を知るかを学ぶことができた。講義 5「ILL」では相互貸借業務のマナーや文献複写と現物貸借の業務の流れ、他の図書館業務への貢献などについて講義していただいた。講義 6「利用者教育」は、利用者が図書館を自立的に利用できるようにする教育という観点から、計画から実施まで自館を例にしてお話していただくことできた。

1 日の研修会としては盛りだくさんの講義であったが、参加者にとっては非常に有意義な内容であった。アンケート結果から、研修会の印象として全員から「大変有意義であった」と評価をいただいた。「業務に活かせる講義が多かった」、「業務で発揮できるようにしたい」、「基本的なことを丁寧に教えていただいて勉強になった」と意見が寄せられ、精確な講義をしてくださった講師の皆様には感謝をしたい。

研究会と同様に、新人研修会も図書館業務の知識を習得するばかりでなく、他の図書館員との交流や情報交換ができる場ともなっており、会員同士のヒューマンネットワークを築く良い機会となった。

会場の岐阜県立看護大学図書館の皆様には、準備から開催当日にいたるまで大変お世話になった。新人研修会を無事に終えることができ、会場校のご尽力に心よりお礼を申し上げます。また、講師の方々や参加して下さった皆さんにもお礼を申し上げます。

プログラム

- 09:30 ~ 10:00 受付
- 10:00 ~ 10:10 開会
- 10:10 ~ 11:00 講義 1 図書館司書の役割
今田敬子氏 (国際医療福祉大学)
- 11:00 ~ 11:40 講義 2 選書と分類

- 根岸准子氏（公益社団法人日本看護協会図書館）
- 11:40～12:40 昼食
- 12:40～13:20 講義3 雑誌の選定
小林晴子氏（愛知医科大学医学情報センター）
- 13:20～14:40 講義4 レファレンス
松本直子氏（聖路加看護大学図書館）
- 14:40～14:50 休憩
- 14:50～15:30 講義5 ILL
志茂淳子氏（和歌山県立医科大学図書館三葛館）
- 15:30～16:20 講義6 利用者教育
駒井敦美氏（滋賀県立大学図書情報センター）
- 16:20 閉会
閉会后、図書館見学